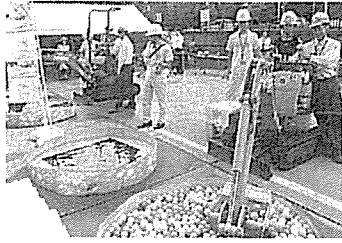


# ミニシヨベル操作に奮闘

## 子ども霞が関見学デーで催し

協 略 的 推 進  
報 推 進 報



夏休みを利用して、子どもたちに広く社会を知ってもらい、その両親等にも、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に、2日と3日、東京・霞が関の

各省庁で、17年度「子ども霞が関見学デー」が開かれている。これに今年度も、国土交通省や建設業団体から成る「建設産業戦略的広報推進協議会」が企画。国交本省（中央合同庁舎3号館）で、各種イベントを開催し、子どもたちに建設産業の魅力を伝えた。

1階正面玄関では、人気の体験コーナー「乗ってみよう！ はたらくくるま！」を開催。日本建設業連合会を通じて戸田建設の協力のもと、ミニシヨベル2台を用意し、子どもらはミニシヨベルの操作に奮闘、カラーボールすくいに挑戦した。写真。

このイベントの運営に当たっては全国建設業協会、全国中小建設業協会、東京建設業協会、建設産業専門団体連合会、東日本建設業保証が協力。このコーナーに、石井啓一国土交通大臣が立ち寄り、ミニシヨベルの操作体験を楽しむ、子どもたちの姿を見学した。

また、屋内では、職人の技の体験や展示を通じて魅力を発信した。全国中小建築工事業団体連合会の協力のもと「大工体験」、日本造園組合連合会の協力のもと「ミニミニ庭園づくり体験」や、「関守石文鎮づくり体験」、日本アンカー協会の協力のもと「アンカー職人体験」を開催した。